

# DIGITABLE 第 56 回勉強会レポート

2012 年 6 月 16 日 於：森下文化センター 第二研修室



Digitable 基礎講座 「トーンカーブと色調の調整」：高木大輔 講師  
参加者全員による“ライトニングトーク”（持ち時間 5 分）  
Photoshop 研究講座「和紙写真集」：平野正志 講師

DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) <http://www.digitable.info>

## Digitable 基礎講座 2012 第 3 回

### トーンカーブと色調の調整：高木大輔講師

■印刷向けのスポイトを使用したレベル補正方法  
「レベル補正」および「トーンカーブ」では、メニュー右下の 3 つのスポイトで、画像のハイライト、シャドウポイント、およびグレースバランスを設定できる。従来からの商業印刷技術上のセオリーでは、ハイライト、シャドウポイントをそれぞれ (RGB とも 245/15) 程度に設定するのが「印刷上の安全圏」といわれていた。真ん中のグレースポイトは、なるべく中間域で適切な「本来のグレー」を見つけることが重要だ。

■基準点の見つけにくい場合のホワイトバランス調整作業  
タングステン光や古いカメラの設定のような場合は各チャンネルを手作業で操作する方法が確実だ。情報パレットで各チャンネルのヒストグラムを表示し、そのヒストグラム領域が相似するように操作するとカラーバランスが整ってくるのが分かる。ホワイトバランスの調整は各チャンネルのレンジを揃える作業が原則だ。

### ■レイヤー効果を利用した調整作業

レイヤー効果の中にある「ブレンド条件」とは、本来は重なったレイヤーの表示方法を、チャンネル（カラー情報チャンネルのみ）を使って指定する機能だが、たとえば、アクティブレイヤー（今、選択している調整レイヤー）の情報に基づき、シャドウ寄り以外の情報を除外して、下のレイヤーと合成表示するといったことができる。

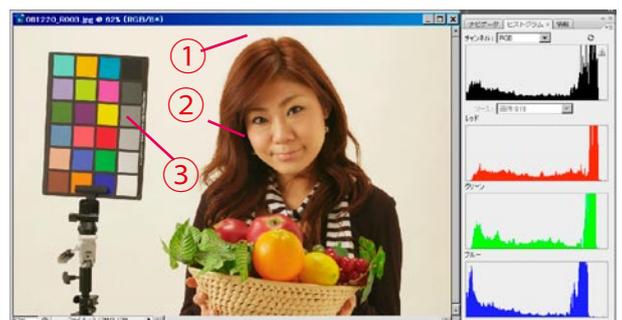
この「レイヤー効果」を利用すれば、例えば暗部の領域だけに、極端に強い補正をかけることも可能になるし、コツをつかめば、類似の画像にも充分に応用が利く。

このような手法は調整レイヤーならでは、いくら“潜在能力のある” RAW 画像でも不可能なことだろう。

今後もこのような（調整）レイヤーを駆使した手法の研究を取り上げて、調整の幅を広げ画像処理の「楽しさ」を存分に体験していただきたいと考えている。

\*\*\*\*\*

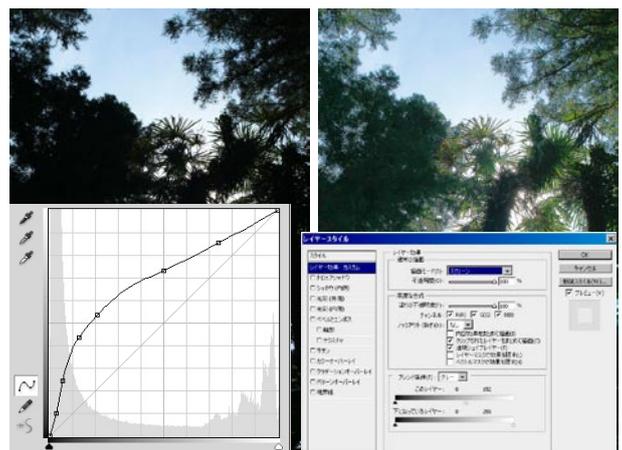
DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) <http://www.digitable.info>



スタジオ撮影でのスポイトを使用した調整ポイント



基準点のポイントの見つけにくい画像は手作業で



レイヤー効果を利用したシャドウ補正、類似コマに応用出来る

## 参加者全員による「ライトニングトーク」

(各自持ち時間 5分)

T 講師：自社ホームページを使い事業のコンテンツの紹介  
TE 会員：5D IIIによる HDR 合成、協会写真集、修学旅行等  
IS 会員：ブルーレイディスクとテレビ録画の活用法  
AY 会員：カラーチャートをメーカー毎に詳細に出力比較  
IF 会員：5月の奥只見への撮影行 新緑と只見線が印象的  
EY 会員：鳥羽での海女の動画作品 動画作品とは言え、流れの中で印象づけるには静止画の方が強いという  
SY 会員：新しい「ユーザエクスペリエンス」の概念を紹介  
ST 会員：カンボジア、京都の撮影行報告 RAW にも着手  
KM 会員：写真展用に筑波山の撮りおろしを開始 初回報告  
YA 会員：いよいよ Jasmine の作品を披露 & 撮影会情報  
H 講師：Michael Kenna の変わった写真集「IN HOKKAIDO」  
...

\*\*\*\*\*

## Photoshop 研究講座 平野正志 講師

### 「和紙写真集」○制作の手順

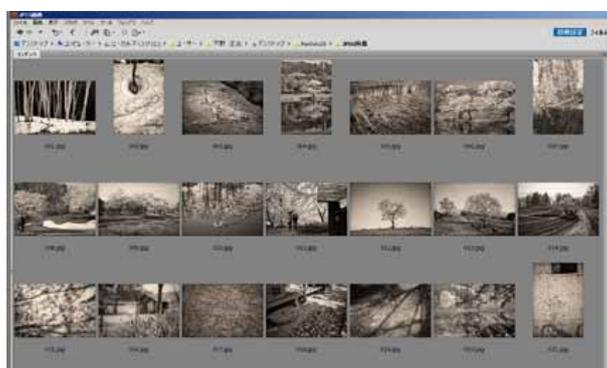
- ① 写真を選択し、RAW 画像をカラー画像として現像する
- ② 背景のコピーレイヤーを作り、さらにフォトショップで RAW 現像で不満の残る部分の調整
- ③ 調整レイヤー白黒で、モノクロ画像に変換。フォトショップのほかにシルバーエフェックスでの作業もよし。この場合にもレイヤーが出来上がる
- ④ レンズ補正で周辺光量の調整。背景のコピーレイヤーで焼きこみのように、必要な場合には焼きこみ、覆い焼き等。
- ⑤ トーンカーブでコントラストをつける  
(カラー画像変換のままではややコントラストに不満)
- ⑥ 和紙印刷用トーンカーブ。調整レイヤー・トーンカーブで全体に明度を上げ、特に暗部をやや明るめに調整する和紙の銘柄や用紙によって結果が異なるため、テスト印刷は欠かせない
- ⑦ レンズフィルター、暖色系をレイヤーでかける  
20-40%の適応量でレイヤーを作り、このレイヤーをそのままほかの写真へとコピーする
- ⑧ ページ順に並べ替え、ファイル名をページに変更
- ⑨ 印刷設定でサイズを決定
- ⑩ 綴じ代のため中央を外し左を空ける
- ⑪ 必要部数 20 部の印刷
- ⑫ 表紙・奥付を製作。A3 を二つ折りの半分で A5 とする
- ⑬ ページをそろえ穴あける
- ⑭ 糸綴じでくくる
- ⑮ 断裁器で両サイドをカットして仕上げ

\*\*\*\*\*

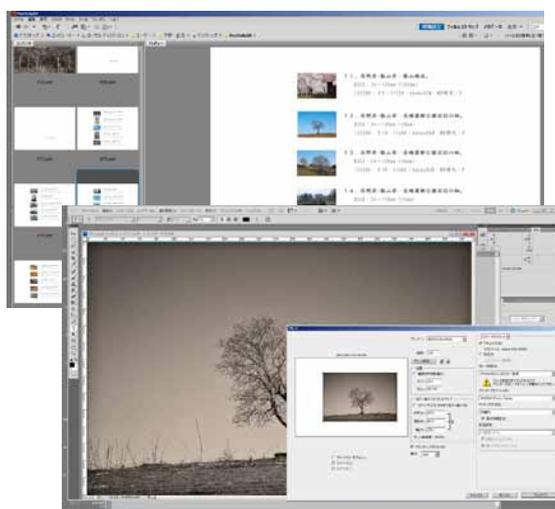
DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) <http://www.digitable.info>



今月の 1 枚：日本建築写真家協会 10 周年写真集  
@ 1800 部数限定、お早めどうぞ！ (多田会員)



調整済み画像のサムネール表示



本としての体裁を整え、ページを構成する



ページをそろえ穴あけ、糸綴じでくくる